

農業法人経営における食農活動・消費者交流の取り組みについて

(社)日本農業法人協会
食農融和推進部会

日本農業法人協会では、農業法人経営における食農活動・消費者交流の取り組み状況について実態を把握するため、全会員へのアンケート調査を行いました。

I 調査概要

アンケート調査

対象：(社)日本農業法人協会会員（農業法人及び法人化志向農業者）1,728 会員

方法：郵送留置法

期間：平成 20 年 6 月 25 日～9 月 30 日

回答：787 会員（回収率 45.5%）

II アンケート調査結果

1 食農活動・消費者交流の取り組みについて

食農活動・消費者交流の取り組みは、会員全体で「実施している」37.9%、「検討中」11.7%を含めると 5 割弱を占めていることから、食農活動・消費者交流に対する関心の高さが窺える。

「実施している」会員のうち、協会からの相談に対し「農場受入可」27.2%、「思いを語る程度可」9.1%、「内容により検討」43.6%を含めると 8 割となっており、極めて協力的である。

図 1 食農活動・消費者交流の取り組みについて

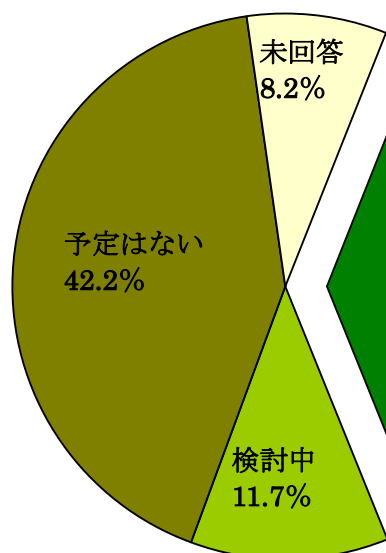
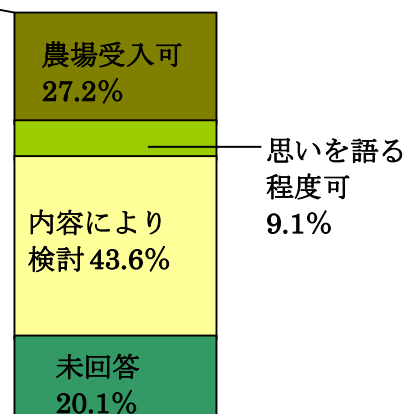


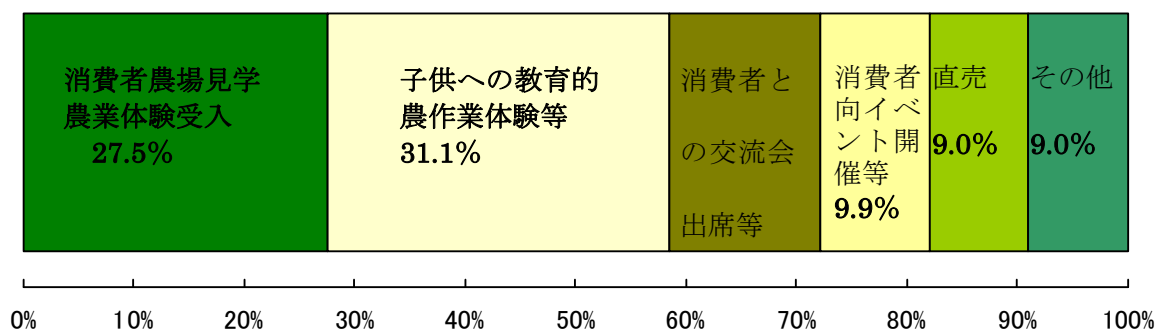
図 2 食農活動・消費者交流等の相談について



2 取り組みの内容について

実施している取り組み内容の内訳をみると、「消費者の農場見学・農業体験受入」が27.5%、地域の小学生等「子供への教育的農作業体験等」が31.1%と農業体験が6割弱を占めた。都市等の「消費者との交流会出席等」が13.5%。自ら「消費者向けイベント開催等」が9.9%であった。

図3 食農活動・消費者交流等の取り組み内容について



3 実施経営体の営農類型・所在地について

実施している経営体を営農類型ごとにみると、「水稻」が28.2%で最も多く、次いで「果樹」13.4%、「施設野菜」9.7%の順。

これを都道府県別にみると「水稻」の盛んな「宮城県」「新潟県」に多い。

図4 食農活動・消費者交流等を実施している経営の営農類型について

水稻	28.2%
果樹	13.4%
施設野菜	9.7%
採卵鶏	7.4%
露地野菜	6.4%
養豚	5.7%
酪農	5.0%
施設花き	4.0%
肉牛	4.0%
雑穀	3.4%
茶	3.0%
きのこ	2.7%
その他	7.1%

図5 食農活動・消費者交流等を実施している経営の所在地について



社団法人日本農業法人協会 <http://www.hojin.or.jp>

政策課 城間・岸本

TEL : 03-6268-9500 FAX : 03-3237-6811

食農活動 事例

(有)小杉農園(滋賀県東近江市)

<http://www.kosuginoen.com/>

[事業内容]

- ・ 花卉・野菜苗生産、貸し農園、ログハウス付貸し農園、農業塾
- ・ 園芸売場（野菜、花の苗、花、野菜、加工品、園芸用品など）
- ・ バーベキュー、グランドゴルフほか

[食農活動実施に至る経緯等について]

代表者の小杉長男氏は勤務していたJAを辞め、1989年に野菜苗・花苗の生産直売を開始。2005年に直売場の拡大をはじめ、大改革を行い現在に至る。この農園では農業を通して体・心・土の三つを作る「三づくり農業」を提案。小杉代表は“お客様に必要と思われる店作り”を目指す。



(有)杉農園(大阪府枚方市)

<http://homepage1.nifty.com/sugigohei/>

[事業内容]

- ・ 気軽に食事を楽しめるテラスハウス・パン・ケーキ工房
- ・ 代官屋敷や酒蔵を移築した本館では、園内で栽培・収穫した季節の野菜・山菜・果物等を使った農園料理の提供
- ・ 体験農園、果物狩り など

[食農活動実施に至る経緯等について]

この農園は本々芋掘りと芋粥提供から始まり、野島代表の「お客様に本当の食農体験をさせたい」という想いが経営を拡大させた。ここに至るまでには、この農園が市街化区域と市街化調整区域にまたがるがゆえに、都市農業としての苦労があったとのこと。高級住宅街の目の前に現れる農村景観には驚かされる。



(有)しものファーム(大阪府堺市中区)

<http://blog.zaq.ne.jp/shimonofarm/>

[事業内容]

- ・ 小松菜専作 160a。
- ・ 小学校見学受け入れ、学校給食へ食材提供
- ・ 地元中学生の社会体験受け入れ

[食農活動実施に至る経緯等について]

霜野代表は1993年に就農。子供たちに、食べ物が自然、地域、家族、いろいろな人の支えによって食べることができ、自分が生かされているということを感じてもらいたいと食育や地産地消にも取り組む。



(有)梶岡牧場・NPO法人「きららの里」(山口県美祿市)

<http://www.firehill.com/>

[事業内容]

肉牛肥育 500頭・堆肥生産・販売。レストラン経営。イベントホール、陶芸工房、ワイン蔵、ポニー乗馬。など

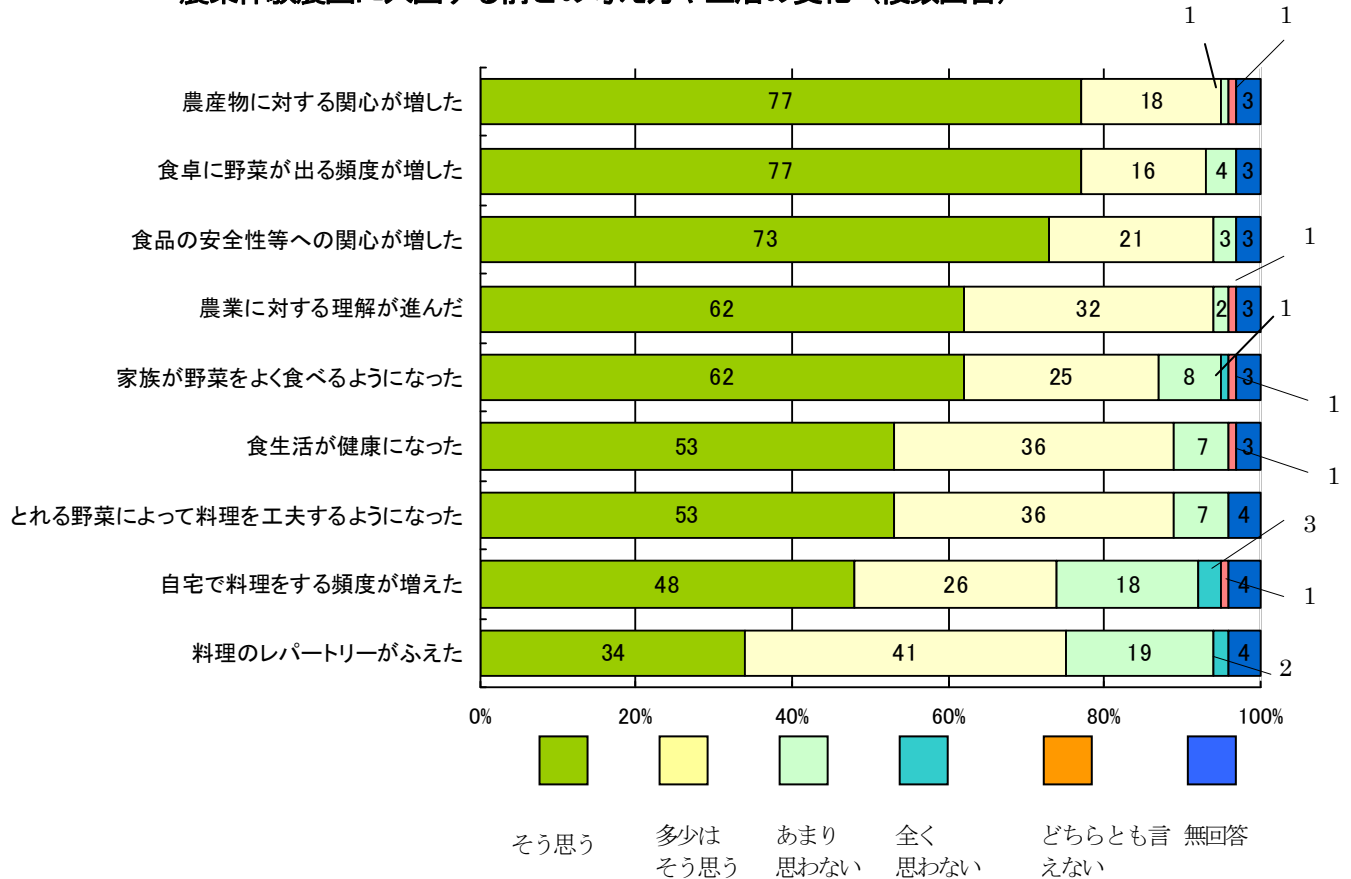
[食農活動実施に至る経緯等について]

梶岡代表は自ら経営する(有)梶岡牧場で食農活動に取り組んでいたが、食農活動を分離すべくNPO法人「きららの里」を設立。きららの里を支援することで活動の幅を広げた。2008年度には農水省教育ファーム実証地区に認定され、幼稚園・小学校の体験学習の受け入れを行う。



※ 全国担い手総合支援協議会 経営多角化・高度化推進事業の現地調査結果の一部を掲載しました。

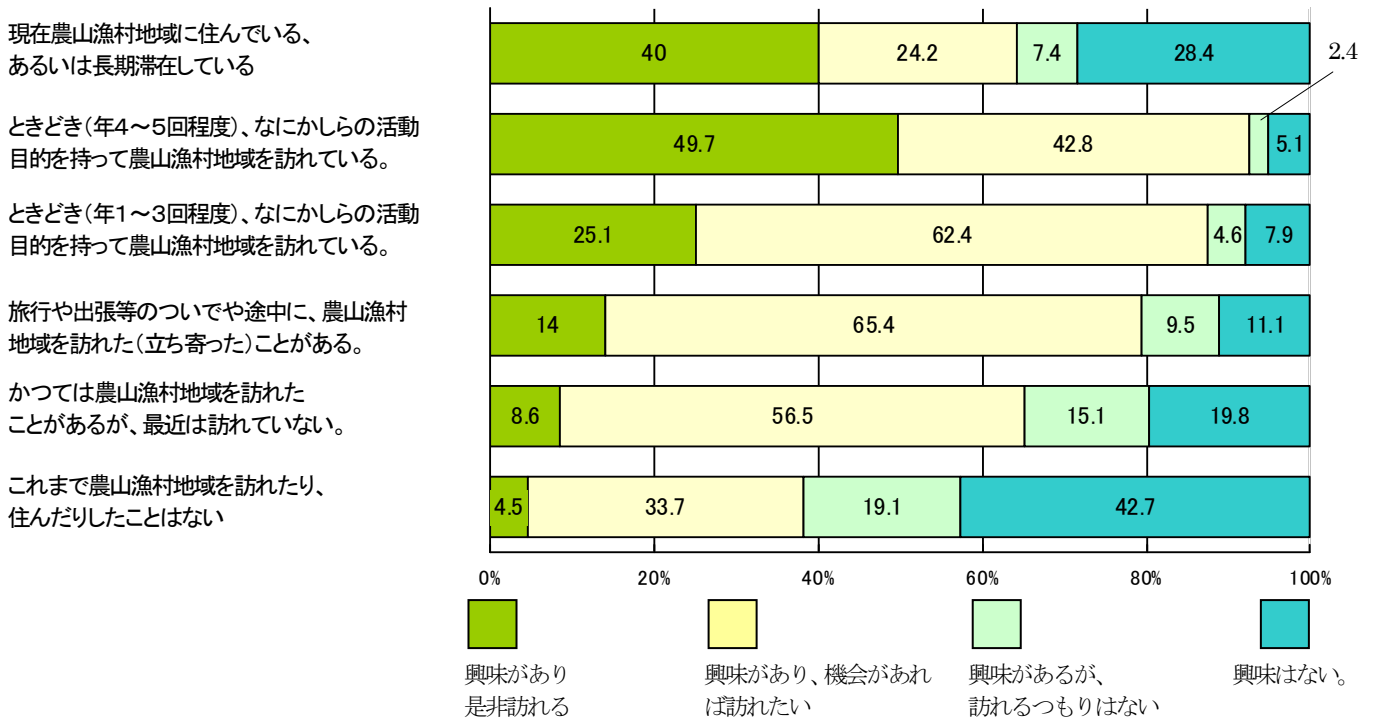
農業体験農園に入園する前との考え方や生活の変化（複数回答）



資料：東京都農業会議「農業体験農園の取り組み実態と評価に関する調査」（2008年4月公表）

注：農業体験農園に入園している680人を対象として実施（回収率84.9%）

農山漁村へのこれまでの訪問体験と興味・訪問意向



資料：国土交通省「都市農山漁村連携交流推進調査」（2008年3月公表）

注：1）インターネット調査会社に登録しているモニターを対象として実施したアンケート調査（回答総数2万）

2）調査対象は、東京23区及び全国の政令指定都市に居住する